

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 10 月 26 日 (2006.10.26)

【公開番号】特開 2005-28094 (P2005-28094A)
 【公開日】平成 17 年 2 月 3 日 (2005.2.3)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-005
 【出願番号】特願 2003-316463 (P2003-316463)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A
 A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 9 月 8 日 (2006.9.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動入賞に伴い内部抽選を行うことにより、変動パターン及び停止図柄を決定し、変動パターンコマンド及び停止図柄コマンドを出力し、その後、最終停止コマンドを出力する遊技制御手段と、

図柄を可変表示し、その停止時に特定図柄又は非特定図柄を最終停止表示する図柄表示装置と、

前記遊技制御手段から入力される変動パターンコマンドに基づいて決定される変動パターンで図柄を可変表示させ、前記遊技制御手段から入力される停止図柄コマンドに基づいて決定される停止図柄となる特定図柄又は非特定図柄を停止表示させ、前記遊技制御手段から入力される最終停止コマンドに基づいてその停止表示された図柄で最終停止表示させるように、前記図柄表示装置を制御する表示制御手段とを備えた遊技機において、

遊技者により押圧操作される操作手段を設け、

前記変動パターンとして図柄の変動開始から停止までに比較的長時間となる第 1 時間を要する特定変動パターンを設定するとともに、前記最終停止コマンドの出力に先立って図柄の変動を停止させるための停止コマンドを前記遊技制御手段が表示制御手段に出力可能に構成し、

少なくとも前記特定変動パターンでの変動に際し、図柄の変動開始から前記第 1 時間よりも短い第 2 時間が経過した場合に、又は前記操作手段が操作された場合に、前記停止コマンド出力がなされることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

始動入賞に伴い内部抽選を行うことにより、変動パターン及び停止図柄を決定し、変動パターンコマンド及び停止図柄コマンドを出力し、その後、最終停止コマンドを出力する遊技制御手段と、

図柄を可変表示し、その停止時に特定図柄又は非特定図柄を最終停止表示する図柄表示装置と、

前記遊技制御手段から入力される変動パターンコマンドに基づいて決定される変動パターンで図柄を可変表示させ、前記遊技制御手段から入力される停止図柄コマンドに基づい

て決定される停止図柄となる特定図柄又は非特定図柄を停止表示させ、前記遊技制御手段から入力される最終停止コマンドに基づいてその停止表示された図柄で最終停止表示させるように、前記図柄表示装置を制御する表示制御手段と
を備えた遊技機において、

遊技者により押圧操作される操作手段を設け、

前記変動パターンとして、図柄の変動開始から停止までの図柄変動時間が他の変動パターンと比して長い第 1 時間を要する特定変動パターンを備え、

該特定変動パターンを選択した際には、前記最終停止コマンドの出力に先立って図柄の変動を停止させるための停止コマンドを前記遊技制御手段が表示制御手段に出力可能に構成し、

前記特定変動パターンでの変動に際し、図柄の変動開始から前記第 1 時間よりも短い第 2 時間が経過した場合に、又は前記操作手段が操作された場合に、前記停止コマンドの出力がなされ、それに伴い予め定められた最終停止コマンドの出力時期を繰り上げることに
より、前記第 1 時間よりも短い図柄変動時間にて図柄の変動が終了する構成としたことを
特徴とする遊技機。

【請求項 3】

前記操作手段が操作された場合の停止コマンド出力を、図柄の変動開始から前記第 1 時間よりも短い第 2 時間が経過した場合の停止コマンド出力に優先させることを特徴とする
請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記操作手段が操作された場合には、図柄の変動開始から前記第 1 時間よりも短い第 2 時間が経過した場合の停止コマンド出力を禁止することを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記操作手段は遊技者により往動作及び復動作されるものであり、

該往動作及び復動作を検出して前記遊技制御手段に検出信号を出力する動作検出手段を
備え、

前記遊技制御手段は、前記往動作に基づく検出信号により前記第 2 時間が経過した場合の停止コマンド出力を禁止し、前記復動作に基づく検出信号により前記操作手段が操作された場合の停止コマンドを出力することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれかに
記載の遊技機。

【請求項 6】

前記遊技制御手段は、図柄の変動開始から前記第 1 時間が経過する前に前記復動作に基づく検出信号を検出しなかった場合には、前記第 1 時間の経過後に最終停止コマンドを出力することを特徴とする請求項 5 に記載の遊技機。

【請求項 7】

前記遊技制御手段は、前記特定変動パターンでの図柄変動時間として予め前記第 1 時間と前記第 2 時間とを設定し、

前記操作手段が遊技者により押圧操作されない場合には、前記第 2 時間の経過に伴い図柄の変動が終了する構成としたことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 6 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 8】

前記第 1 時間は分単位以上の長時間に設定されていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 7 のいずれかに記載の遊技機。